

耐震改修計画（案）

1 耐震診断結果

建築物の耐震改修の促進に関する法律（以下「耐震改修促進法」）に基づき、金沢競馬場の耐震診断を実施したところ、スタンド棟が現行の耐震基準（ I_s 値が0.6以上）を満たしていないことが判明した。

耐震改修促進法（平成25年11月25日施行）の概要
 不特定多数の者が利用する大規模な建築物について、「耐震診断の実施」及び「診断結果の報告」が所有者に義務付けられた。
 ・対象施設 昭和56年5月31日以前に着工した旧耐震基準による3階以上で、かつ床面積の合計が5,000㎡以上の建築物
 ・金沢競馬場 スタンド棟
 昭和47年建築 鉄筋コンクリート造3階建 床面積14,561.39㎡

2 耐震改修計画の概要

(1) 考 え 方： スタンド棟は、大屋根等により上層階の重量が大きい特殊な構造なため、現状のまま耐震化を行った場合には多額の費用が必要(A案)となる。

このため、大屋根の一部撤去や高架水槽の移設により上層階を軽量化し、事業費を圧縮(B案)する。

区 分	A案	B案
工事方法等	・現状のまま施設全体を耐震化 ・耐震壁（鉄筋コンクリート造又は鉄骨造）設置	・大屋根の先端撤去、高架水槽の移設により軽量化のうえ耐震化 ・耐震壁（鉄筋コンクリート造又は鉄骨造）設置
概算工事費	約13.0億円	約10.9億円
外観デザイン	現状のまま	大屋根の一部が無くなる 〔日除け・雨除けのある座席が若干減る〕

(2) 財 源： 地方債を活用

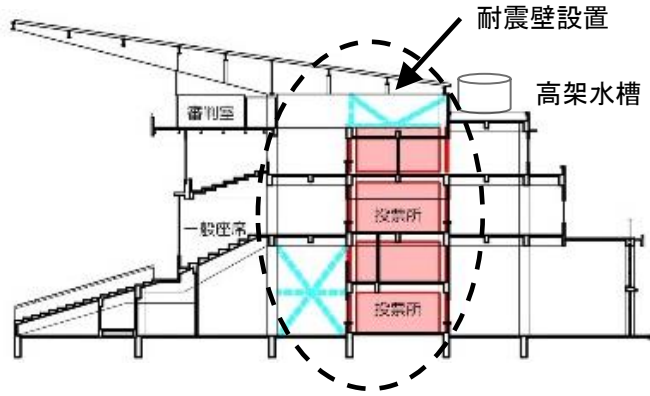
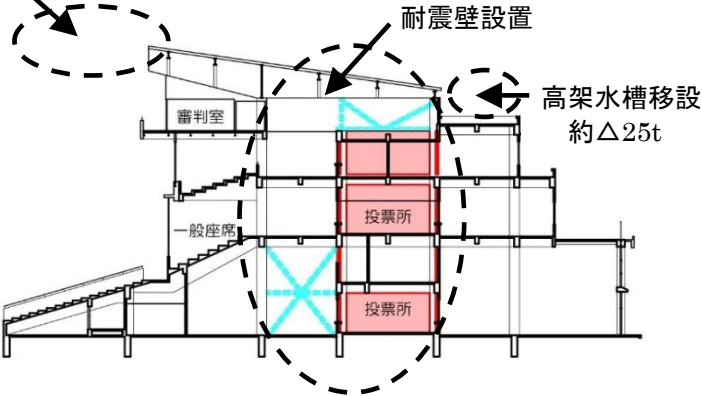
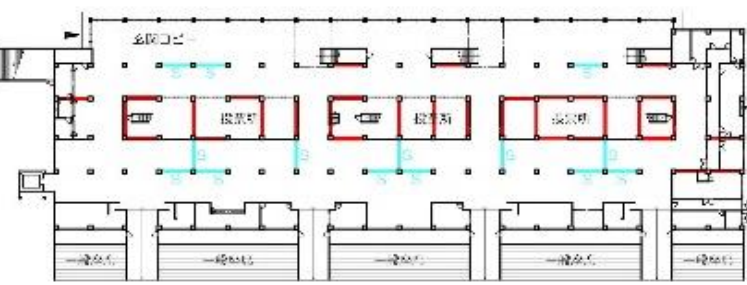
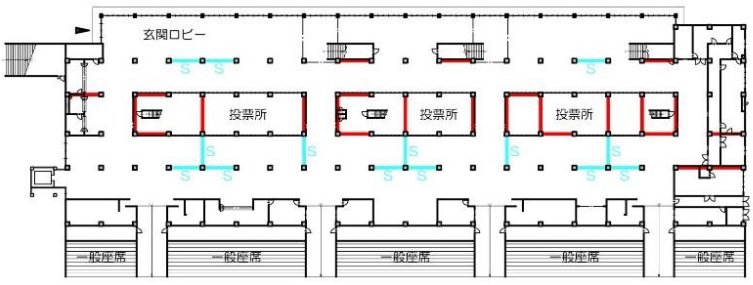
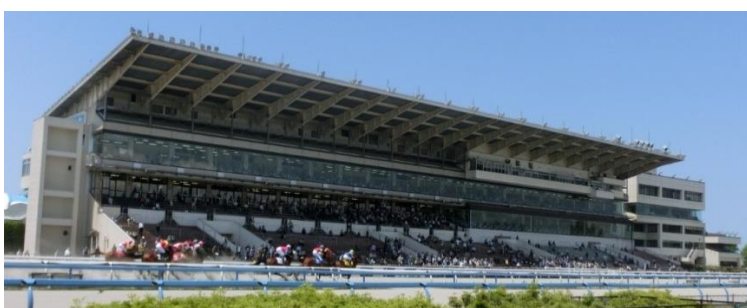
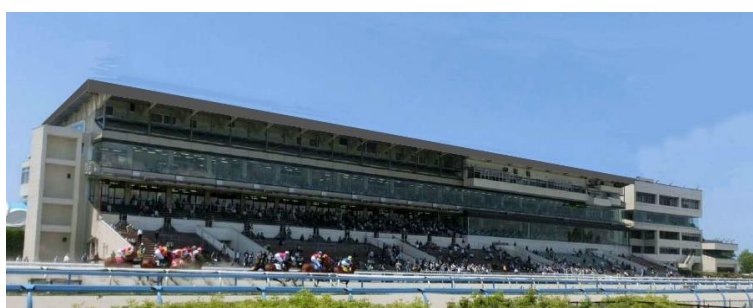
金沢競馬場は、災害対策基本法に基づく指定緊急避難場所に指定されており、公共性が高い建物である。このため、その改修には防災対策事業債（充当率90%、交付税措置率50%）を活用
 防災対策事業債を活用することで、単年度の負担を平準化

(3) スケジュール

実施設計：平成28年

耐震改修工事：平成29年～平成30年（2ヶ年）

(4) そ の 他： 工事期間中も競馬を開催

	A案	B案
【断面図】		
【平面図（1階）】		
【外観】		

「耐震壁の設置例」

